

東京学芸大学 かわらばん 附属図書館

No.16



デジタル
アーカイブ
を活用した
教材作り

「S×UKILAM連携シンポジウム、 教材化ワークショップ」を開催



S×UKILAM（スキラム）連携とは、学校関係者（S）、大学・研究機関（U）、公民館などの地域施設（K）、企業（I）、図書館（L）、文書館（A）、博物館・美術館（M）などの関係者が協力し、デジタルアーカイブを活用した学校教材を作成する取組です。2021年から主にオンラインで開催されており、昨年度（2025年度）からは、年1回、東京学芸大学附属図書館のラーニングcommonsを会場として対面形式でも開催しています。

今年は7月28日にワークショップを開催し、教材作成参加者44名、見学参加者19名の計63名が参加しました。7つのグループに分かれて活発な議論が行われ、古典資料、地域資料、報道資料など、多様な分野で公開されている特色ある資料を活用しながら、教材作成の豊かな可能性が数多く示され、参加者にとって貴重な気づきを得る機会となりました。S×UKILAM連携教材化ワークショップは、今後もオンラインと対面の両方で継続的に開催される予定です。みなさんもぜひ参加してみてください。



成果物は、「**S×UKILAM（スキラム）連携／多様な資料を活用した教材アーカイブ**」でご覧いただけます。ぜひ覗いてみてください。今後のワークショップ開催日程も確認いただけます。





2026新入生歓迎企画「学芸本ガチャ！」を開催しました

4月10日から7月24日まで、2026新入生歓迎企画「学芸本ガチャ！」を開催しました。この企画は2022年より定期開催しており、電子ブックの利用促進と、ふだん手に取らない本との出会いを楽しんでもらうために行っているものです。

オンラインガチャでは、図書館Webサイトで公開している「オンラインガチャ」を回すと、ランダムに電子ブックが1冊選ばれ、OPACの詳細画面が表示されます。今回は一部中身を入れ替え、全11台のガチャを公開しています。今後もテーマの追加や内容更新を予定しています。

図書館1階には木製の「リアルガチャ」を設置しました。カプセルには「新入生に読んで欲しい！図書館員が選んだおすすめ本」の情報がっており、入門書や学生生活に関する本などを紹介しました。利用者には当たった本を棚から探すワクワク感を楽しんでいただきました。

「ガチャ」「GACHA」は株式会社タカラトミーアーツの日本国登録商標です。



次回の秋企画は10月15日スタート予定です。どうぞお楽しみに♪



学生向けに雑誌に関するアンケートを実施しました



6月29日から7月24日に学生向けの雑誌に関するアンケートを実施しました。アンケートへのご協力誠にありがとうございました。

今後、アンケート結果をもとに令和9年度に図書館で購読する雑誌を検討いたします。
検討結果については1月ごろに公表いたします。
お楽しみに♪



アンケート概要

調査の目的	図書館が購入している雑誌をより学生に活用してもらうため、学生がどのような雑誌を読みたいと考えているかニーズを把握し、令和9年度契約分の購読雑誌選定の参考にすること		
調査期間	2026年6月29日（月）～7月24日（金）		
調査対象	本学学生		
調査方法	新規購読希望調査と継続購読希望調査をそれぞれ下記のように実施しました。 I. 新規購読希望調査 Microsoft Formsでアンケートを作成し、回答用のQRコード・URLを掲載したチラシの館内掲示やカウンターでの配布、各種SNSでの広報を通じて、回答をお願いしました。 II. 継続購読希望調査 現在図書館が購読している雑誌のうち、近隣図書館に所蔵があるものを中心にリスト化し、館内に掲示し、継続を希望するものにシールを貼ってもらいました。		
回答状況	I. 新規購読希望調査	回答件数	80件
	II. 継続購読希望調査	シール枚数	153枚

詳しいアンケート結果は、
図書館Webサイトのお知らせを
ご確認ください。

【ご報告】
学生向け雑誌に関するアンケート
の結果について（2026-08-04）



<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20260804>



開催報告 2026年度春学期入門セミナー

2026年4月～7月に、学部1年生対象の授業「コース別入門セミナー」内にて、附属図書館職員が講師となり図書館の利用方法（図書館ガイダンス）や文献検索方法（文献検索セミナー）についての講義を行いました。受講した学生からは、「これからの学生生活で図書館を活用したい」「小中高の図書室との違いが理解できた」などの声が寄せられました。

実施概要

- ・図書館ガイダンス
大学での「学びのサイクル」に合わせて図書館の機能や利用方法を紹介するガイダンスや館内ツアー
今年のガイダンスは動画を用いてクイズを交えながら説明を行いました。
- ・文献検索セミナー
図書や論文の検索方法について実習を交えながら、データベースの使い方などを紹介するセミナー

資料

資料はこちらで公開しております



<https://lib.u-gakugei.ac.jp/learning/seminars/2026>

内容	実施回数（昨年度実施回数）
50分 ver. (図書館ガイダンスのみ)	10(12)
100分 ver. (図書館ガイダンス+文献検索セミナー)	22(27)
場所のみ提供	1(1)
合計	33(40)



高等専門学校及び技術科学大学図書館情報交流会

2026年8月28日（金）に「高等専門学校及び技術科学大学図書館情報交流会」を実施しました。この集会は国立高等専門学校図書館員の研修・交流を目的に1999年から実施されてきた取組みで、現在は長岡技術大学と国立高等専門学校機構が共同開催しています。今年度は本学を会場として、当館職員が講師を担当しました。



午前は「利用者サービスについて～図書館ガイダンスと展示企画～」の題目で講演を行い、入門セミナーや展示の取り組みについて紹介しました。午後は図書館を見学後、「図書館展示で高専の魅力発信」をテーマにワークショップを実施しました。高等専門学校図書館員のみなさまに当館の取り組みについて知っていただく良い機会となりました。

令和8年度春学期学習サポータ活動報告



学習サポータ展示企画『愛 向き合い方・かかわり方』が、2026年7月28日から翌1月まで、図書館1階ラーニングコモンズにて開催中です。



今回の展示テーマはズバリ「愛」です。前回展示『感情博物館』にて利用者へのアンケートを実施したところ、「愛」に関心を寄せる回答が多かったことを受け、今回の展示のテーマを「愛」としました。一口に「愛」と言ってもその表現は様々です。そこでこの展示では、「愛」を対象との向き合い方やかかわり方を表すものとして解釈し、それぞれのカテゴリーにまつわる本を紹介しています。

また、来館者参加企画としてアンケートを設けています。あなたにとっての「愛」とは？それぞれの関心事に向き合い、本を通してかかわり方を捉え直す場になれば幸いです。さらに「愛みくじ」もご用意しています。皆様のご参加をお待ちしております！





東京学芸大学大学史資料室のご紹介



東京学芸大学大学史資料室は、附属図書館3階にあり、本学の歴史に関する重要な資料を調査・収集・保存・公開することを任務として活動しています。

四半期ごとに展示を行っており、4月から6月までは「東京学芸大学の創設とキャンパスの移り変わり」をテーマに、大学創成期から小金井キャンパスまでの変遷について展示を行いました。



7月から9月までは「小金井地区の附属学校・園のあゆみ」をテーマに、草創期の附属幼稚園小金井園舎、附属小金井小学校・中学校について展示を行っております。
開館時間は平日10時から16時まで、ぜひお越しください！

展 示

「劇団うめおにぎり 新美南吉ときつねの足跡」

2026年5月25日～6月17日に、図書館1階ラーニングコモンズにて「劇団うめおにぎり 新美南吉ときつねの足跡」の展示を行いました。本学公認サークル劇団うめおにぎり「ごんぎつね」「手袋を買いに」の上演に併せて実施した企画展示で、新美南吉作品に関するパネルや絵本の展示を実施しました。



「写真研究部 写真展」



2026年7月15日～24日に、図書館1階展示棚（新着図書コーナー上部）にて「写真研究部 写真展」を実施しました。写真研究部の部員が撮影した写真作品を展示し、来館者に日頃の活動成果報告を行いました。

「留守模様から読む伊勢物語—絵が語る物語を探そう—」

2026年7月～8月にかけて、図書館1階ラーニングコモンズ展示棚にて「留守模様から読む伊勢物語—絵が語る物語を探そう—」の展示を行いました。スクラム連携イベントの実施に合わせて、嵯峨本のアーカイブ資料を利用した授業で学生が作成した留守模様のクイズと、伊勢物語関連書籍を展示しました。



edumotto

×

附属図書館

「edumotto関連展示」

2026年7月から新しいedumotto関連展示が始まりました。今回の展示ではedumotto学生メンバーが昨年度末に附属図書館で実施したブックトークに登場した本を、紹介コメントのPOPと共に展示しています。



「edumotto連携企画」

edumotto（東京学芸大学公式ウェブマガジン）の学生による司書体験記事の第3弾が公開されました。今回は学術リソース管理係のお仕事を取り上げていただいています。このシリーズ記事は今回で完結となります。第1弾、第2弾と併せてぜひご覧ください。

edumotto（東京学芸大学公式ウェブマガジン）学生による司書体験記事



<https://edumotto.u-gakugei.ac.jp/2026/10/20/8303/>



<https://edumotto.u-gakugei.ac.jp/2025/01/30/5954/>



<https://edumotto.ugakugei.ac.jp/2025/07/18/6422/>



附属学校の学びの成果をご紹介

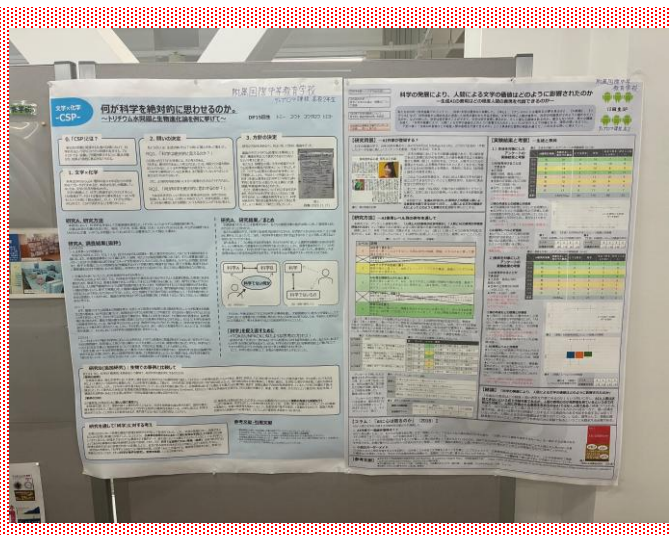
附属国際中等教育学校「科学を扱った文学作品を読む」

附属図書館では、各附属学校司書の協力のもと、児童・生徒の皆さんが日々の学習や活動を通して制作した成果物を、1階学校図書館コーナーにてご紹介しています。

5月21日からは、附属国際中等教育学校による「科学を扱った文学作品を読む」の展示を実施しました。

国際中等教育学校では、5年（高2相当）、6年（高3相当）の生徒を対象に、大学入学前に幅広い分野を学習する「ディプロマ課程」と呼ばれる教育プログラムがあります。この展示は、そのディプロマ課程2年生（高3相当）が作成した科学協働プロジェクトの探求成果をポスターにまとめて展示をしています。ぜひご覧ください。

展示は定期的に入れ替えを行っており、各附属学校の特色が表れた作品を見ることができます。図書館にお越しの際は、ぜひ子どもたちの学習・活動の成果ものぞいてみてください。



最近の世の中の見過ごせない本質的な動きを知る上で、“喫緊のお勧め”の一冊である。



『軍民両用化する技術
「デュアルユース問題」
とは何か?』

大庭弘継
光文社新書1404
光文社、2026年3月
ISBN: 9784334109240
請求記号: 507/OBA

本書が果敢に焦点をあてる「軍民両用化する技術」とは、別名、デュアルユース技術であり、AIなどの先端技術を含む、民生と軍事の両方に利用できる技術である。本書のことはを借りると、「命を守る技術」であると同時に「命を奪う技術」である。この一見相反しそうな2側面のどちらか一方が欠けることはない。そして、本書を読み始めてすぐに、この極めて厄介な技術が、私たちの日常に深く浸透しつつある様相に気づく。

たとえば、いま私たちは、度重なる自然の猛威により、多くの人々の尊いいのちや暮らしが失われる痛ましい現実にも何度も直面している。こうした甚大な自然災害は、地域や国家のパワーも大きく損なう。このなかで、AIを活用して高精度な予知・予報、危機管理を実現できないかと期待がかけられる。

しかし同時に、止まることのない世界各地の武力紛争・戦争において、「人間の判断を介さず自律的に敵を攻撃するAI兵器」(NHK)の導入が急加速し、その様相を一変させている。高性能な自律型AIが、「人を欺き」、「人間を脅迫してくる」という実験的な証拠も目の当たりにしてきた(AI研究の巨匠Y・ベンジオ氏談:毎日新聞)。さらには、AIの<再帰的自己改善>によって近いうちに誕生するであろうASI(人工超知能)が人類を滅亡させるおそれが強いと真剣に説くAI研究者も現れている。

本書は、いまずぐに手に取るべき一冊である。デュアルユース技術問題は、「生きる力」の育成と決して無関係ではない。

附属小金井小学校「なでしこ図書館」紹介

本学のキャンパス内にある附属小金井小学校の学校図書館は、校章にちなんで「なでしこ図書館」と呼ばれ、児童に親しまれています。

近年、校舎の改修工事が行われているため、児童の読書スペースが限られていました。しかし、今年4月からは図書館全体を利用できるようになり、子どもたちのにぎわいが戻ってきました。

休み時間には、読書を楽しむ子、係活動のための調べものをする子、ふらりと立ち寄る子など、さまざまな児童が訪れます。1年生から6年生まで、学年を問わず利用されています。

授業時間中の「図書の時間」では、本の貸出・返却だけでなく、担当教員による読み聞かせや図書館利用の学習も行っています。また、図書館資料を活用した調べ学習にも取り組んでいます。

さらに、本校では電子書籍サービス「Mottosokka!」を導入し、紙の本と電子書籍の特長を生かしながら児童に読書の機会を提供しています。電子書籍は同じ本に同時にアクセスすることができるため、「読みたい」と思った時にすぐ読むことができ、児童の読書意欲の向上につながっています。

読書を楽しむ場であり、学びを支える場でもある「なでしこ図書館」は、今日も児童の学校生活に寄り添っています。



図書館
かわら
ばん

図書館かわらばん NO. 16
2026年10月20日 発行
東京学芸大学附属図書館
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
TEL:042-329-7223 FAX:042-329-7226
URL:https://lib.u-gakugei.ac.jp/

東京学芸大学附属図書館公式X
では図書館に関わるお知らせに
ついていち早く発信しています。



https://x.com/gakugei_lib